



2024年2月14日

各位

会社名 TOYO TIRE株式会社
代表者名 代表取締役社長 清水隆史
(コード番号: 5105 東証プライム)
問合せ先 執行役員 延澤洋志
コーポレート統括部門管掌
(TEL (072) 789-9100)

2023年12月期 個別業績の前期実績値との差異及び 剰余金の配当(増配)に関するお知らせ

2023年12月期の個別業績と前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、2023年12月31日を基準日とする剰余金の配当(増配)を2024年3月27日開催予定の当社定時株主総会に下記の通り提案することについて決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2023年12月期(2023年1月1日~2023年12月31日)の個別業績と前期実績値との差異

(1) 個別業績と前期実績値との差異

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前期(2022年12月期)実績 (A)	284,167	19,900	40,109	39,286	255.19
当期(2023年12月期)実績 (B)	310,514	65,395	90,637	81,932	532.15
増減額(B-A)	26,347	45,495	50,528	42,646	—
増減率	9.3%	228.6%	126.0%	108.5%	—

(2) 差異の理由

主として、前期高騰した原材料価格及び海上運賃の影響が剥落したこと並びに為替相場が円安に推移したことより個別業績が前期実績値を上回りました。

2. 剰余金の配当（期末配当）について

(1) 期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年11月14日公表)	前期実績 (2022年12月期)
基準日	2023年12月31日	同左	2022年12月31日
1株当たり配当金	80円00銭	70円00銭	50円00銭
配当総額	12,317百万円	—	7,697百万円
効力発生日	2024年3月28日	—	2023年3月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題として捉え、毎期安定した配当を実施してまいりました。この安定配当の考え方を堅持しつつ、財務健全性も維持した上で業績に連動させた形で株主の皆様のご期待へお応えしてまいります。

中期経営計画「中計'21」の期間中（2021年～2025年）の連結配当性向を30%以上の水準とすることを考えておりますが、当期純利益に含まれる非経常的かつ特殊な損益などを調整し、より当社の実力値に近い利益に連動させることで、安定的かつ業績との連動性を持った還元策を実現していきます。

当期の期末配当につきましては、1株当たり80円00銭とすることといたしました。これにより、当期の年間配当金につきましては1株当たり100円00銭となりました。

なお、本件につきましては、2024年3月27日に開催予定の定時株主総会において付議する予定であります。

以 上